

0. 回答者情報

(1) 勤務先企業名

(2) 連絡先メールアドレス：本調査の調査結果報告書送付をご希望の方は以下に 送付先メールアドレスをご記入ください。

I. 所属企業および業務についてお尋ねします。

(I-1) 勤続年数：あなたの勤続年数を数字でご記入下さい。

例) 10年 → 10

 年

(I-2) 従業員数：御社の従業員数（正社員数）を選択してください。

- 1. 10人未満
- 2. 10人～50人未満
- 3. 50人～100人未満
- 4. 100人～300人未満
- 5. 300人～500人未満
- 6. 500人～1000人未満
- 7. 1000人～1500人未満
- 8. 1500人～2000人未満
- 9. 2000人～2500人未満
- 10. 2500人～3000人未満
- 11. 3000人以上
- 不明

(I-3) 担当職種：あなたの現在の担当職種としてもっとも適当なものを選択してください。

- 1. マーケティング
- 2. セールス
- 3. コンサルタント
- 4. ITアーキテクト
- 5. プロジェクトマネジメント
- 6. ITスペシャリスト
- 7. アプリケーションスペシャリスト
- 8. ソフトウェア開発
- 9. カスタマサービス
- 10. ITサービスマネジメント
- 11. エデュケーション
- 12. その他（具体的に： _____)

(I-4) 現在の業務：あなたの現在の業務はソフトウェア開発に関係していますか。

- 1. はい
- 2. いいえ

- () 3. これまで導入したことはない
- () 4. 分からない

1を選択した方はⅢの質問へ、2を選択された方はⅣの質問へ、3、4を選択した方はⅤの質問に進んでください。

Ⅲ. 現在導入している(ソフトウェア開発の一部または全体)方にお尋ねします。

(Ⅲ-1) アジャイル開発プロジェクトにおける役割：

あなたが関与するアジャイル開発プロジェクトで、あなたの役割について、もっとも当てはまるものを1つだけ選択してください。 ※新規

- 1. プロダクトオーナー/プロダクトマネージャー
- 2. 開発者
- 3. スクラムマスター
- 4. プロジェクトマネージャー
- 5. UI or UX デザイナー
- 6. QA
- 7. アジャイルコーチ
- 8. その他 (具体的に：)

(Ⅲ-2) アジャイル開発手法を導入したきっかけ：

あなたが関与するプロジェクトで、アジャイル開発手法を導入したきっかけについて、当てはまるものをいくつでも選択してください。

- 1. 開発チームが自主的に判断し導入
- 2. 経営層や上司からのトップダウンでの指示
- 3. スポンサーや発注先からの指示
- 4. セミナーなどで興味をもったから
- 5. 競合他社との兼ね合い
- 6. その他 (具体的に：)

(Ⅲ-3) アジャイル開発手法を導入した時期：

あなたが初めてアジャイル開発手法を導入した時期について、もっとも当てはまるものを1つだけ選択してください。

- 1. 1年以内
- 2. 1年から2年前
- 3. 2年以上前

(Ⅲ-4) アジャイル開発手法を導入したプロジェクト数：

あなたがこれまでに関与してきたプロジェクトで、アジャイル開発手法を導入したプロジェクト数を数字でご記入ください。

例) 10個 → 10

	個
--	---

(Ⅲ-5) 導入していたアジャイル開発プロセス、手法：

あなたがこれまでに関与してきたプロジェクトで、導入していたアジャイル開発プロセス、手法について、当てはまるものをいくつでも選択してください。

- 1. SCRUM
- 2. XP (extreme programming)
- 3. SCRUM/XP ハイブリッド
- 4. リーン

- () 5. DAD (Disciplined Agile Delivery)
- () 6. LeSS
- () 7. SAFe (Scaled Agile Framework)
- () 8. Nexus
- () 9. その他 (具体的に：)

(Ⅲ-6) 導入していたアジャイル開発プラクティス・エンジニアリングプラクティス：

(a) あなたがこれまでに関与してきたプロジェクトで、導入していたアジャイル開発プラクティスと導入状況について、当てはまるものを選択してください。 ※設問分割・項目追加

※ プラクティスの内容については、以下のガイドを参考にしてください。

IPA アジャイル型開発におけるプラクティス活用 リファレンスガイド

<https://www.ipa.go.jp/sec/softwareengineering/reports/20130319.html>

		知らない	知っているが未導入	導入したことがある	よく導入している
1	ベロシティ				
2	バーンアップチャート				
3	バーンダウンチャート				
4	スプリントレビュー				
5	KPT (ふりかえり)				
6	レトロスペクティブ (ふりかえり)				
7	リリース計画				
8	イテレーション計画				
9	朝会 (昼会、夕会なども)				
10	アジャイルコーチ				
11	インセプションデッキ				
12	ストーリーポイント				
13	かんばん				
14	タスクボード				
15	ストーリーマッピング				
16	プランニングポーカー				
17	チケット駆動				
18	プロダクトバックログ				

(b) あなたがこれまでに関与してきたプロジェクトで、導入していたエンジニアリングプラクティスと導入状況について、当てはまるものを選択してください。

		知らない	知っているが未導入	導入したことがある	よく導入している
1	テスト駆動開発				
2	ペアプログラミング				
3	リファクタリング				
4	継続的インテグレーション				
5	ユニットテスト自動化				
6	ビルド自動化				
7	受け入れテスト自動化 ※新規				

8	モブプログラミング ※新規				
9	コーディング標準 ※新規				

(Ⅲ-7) 導入していたアジャイルプロジェクト管理ツール：

あなたがこれまでに関与してきたプロジェクトで、導入していたアジャイルプロジェクト管理ツールについて、当てはまるものを選択してください。 ※新規

		知らない	知っているが未導入	導入したことがある	人に薦めた
1	Atlassian JIRA				
2	Microsoft Excel				
3	Microsoft Azure DevOps				
4	Google Docs				
5	Microsoft Project				
6	Redmine				
7	Backlog				
8	Pivotal Tracker				
9	Trello				
10	Asana				
11	GitHub				
12	Gitlab				
13	社内独自システム				
14	その他				

(Ⅲ-8) アジャイル開発に期待するもの、効果があったもの：

あなたがこれまでに関与してきたプロジェクトで、アジャイル開発に期待するもの、効果があったものについて、それぞれ当てはまるものを全て選択してください。 ※項目追加

		期待する	効果があった
1	変更対応（仕様、環境など）への柔軟性		
2	納期短縮		
3	コスト削減		
4	システム品質向上		
5	開発生産性向上		
6	無駄なものを作らない		
7	ビジネス価値創造		
8	顧客満足度向上		
9	開発者のモチベーションアップ		
10	チームの成熟度向上		
11	開発プロセス改善		
12	収益向上		
13	プロジェクトのリスク削減 ※新規		
14	プロジェクトの可視性向上 ※新規		

(Ⅲ-9) アジャイル開発を評価するメトリクス：

あなたがこれまでに関与してきたプロジェクトで、アジャイル開発を評価するメトリクスについて、当てはまるものをいくつでも選択してください。 ※項目追加

- () 1. スケジュールの予実
- () 2. コストの予実
- () 3. 品質（障害件数など）の予実
- () 4. 顧客満足度の予実
- () 5. 開発者スキル育成の予実
- () 6. ベロシティの予実
- () 7. その他（具体的に： _____)

(Ⅲ-10) ビジネス価値の評価：

あなたがこれまでに関与してきたアジャイルプロジェクトで、ビジネス価値を評価したことがありますか。

- () 1. 評価したことがある
- () 2. 評価したことがない

(Ⅲ-11) (Ⅲ-10)で「1. 評価したことがある」とお答えした方にお尋ねします。

どのような評価方法を採用しているかご記入ください。例：売上高、利用者数など
(_____)

(Ⅲ-12) アジャイル開発で難しいと感じた点：

あなたがこれまでに関与してきたプロジェクトで、アジャイル開発で難しいと感じた点について、当てはまるものをいくつでも選択してください。

- () 1. お客様の理解と協力
- () 2. 契約形態
- () 3. 人材、スキル
- () 4. 開発ツールやインフラ環境
- () 5. 社内の理解と協力
- () 6. 目標設定と人事評価
- () 7. 上司の理解と協力
- () 8. 品質の評価
- () 9. 進捗の評価
- () 10. その他（具体的に： _____)

(Ⅲ-13) アジャイル開発における協力体制：

あなたが現在関与している代表的または直近のプロジェクトにおけるステークホルダーとの協力体制について、もっとも当てはまるものをそれぞれ1つ選択してください。 ※新規

a) 顧客

協力や支援を得られてない

協力や支援を十分に得られている

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----

b) 上司

協力や支援を得られてない

協力や支援を十分に得られている

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----

c) 関係部署

協力や支援を得られてない

協力や支援を十分に得られている

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----

(Ⅲ-14) アジャイル開発手法を導入している期間：

あなたが現在関与している代表的または直近のプロジェクトで、アジャイル開発手法を導入している期間について、もっとも当てはまるものを1つだけ選択してください。

- 1. 2ヶ月未満
- 2. 2ヶ月以上-6ヶ月未満
- 3. 6ヶ月以上-12ヶ月未満
- 4. 12ヶ月以上-18ヶ月未満
- 5. 18ヶ月以上-24ヶ月未満
- 6. 24ヶ月以上

(Ⅲ-15) アジャイル開発を適用しているチームの規模：

あなたが現在関与している代表的または直近のプロジェクトで、アジャイル開発を適用しているチームの規模(人数)を数字でご記入ください。

例) 10人 → 10

 人

(Ⅲ-16) アジャイル開発を適用しているチームの数：

あなたが現在関与している代表的または直近のプロジェクトで、アジャイル開発を適用しているチームの数(同一プロジェクトにおける数)を数字でご記入ください。

例) 10チーム → 10

 チーム

(Ⅲ-17) アジャイル開発受注時の契約形態：

あなたが現在関与している代表的または直近のプロジェクトでは、アジャイル開発をどのような契約形態で受注しているか、もっとも当てはまるものを1つだけ選択してください。

- 1. 請負契約
- 2. 準委任契約
- 3. 派遣契約
- 4. 受注していない
- 5. わからない
- 6. その他(具体的に：)

(Ⅲ-18) (Ⅲ-17)で「1. 請負契約」「2. 準委任契約」「3. 派遣契約」とお答えした方にお尋ねします。

その契約になった理由について当てはまるものをいくつでも選択してください。

- 1. アジャイル開発のため
- 2. 顧客が社内ルールでその契約以外で契約できないため
- 3. 顧客が瑕疵担保を必要としたため
- 4. その他(具体的に：)

(Ⅲ-19) アジャイル開発発注時の契約形態：

- () 5. DAD (Disciplined Agile Delivery)
- () 6. LeSS
- () 7. SAFe (Scaled Agile Framework)
- () 8. Nexus
- () 9. その他 (具体的に：)

(IV-6) 導入していたアジャイル開発プラクティス・エンジニアリングプラクティス：

(a) あなたがこれまでに関与してきたプロジェクトで、導入していたアジャイル開発プラクティスと導入状況について、当てはまるものを選択してください。 ※設問分割・項目追加

※ プラクティスの内容については、以下のガイドを参考にしてください。

IPA アジャイル型開発におけるプラクティス活用 リファレンスガイド

<https://www.ipa.go.jp/sec/softwareengineering/reports/20130319.html>

		知らない	知っているが未導入	導入したことがある	よく導入している
1	ベロシティ				
2	バーンアップチャート				
3	バーンダウンチャート				
4	スプリントレビュー				
5	KPT (ふりかえり)				
6	レトロスペクティブ (ふりかえり)				
7	リリース計画				
8	イテレーション計画				
9	朝会 (昼会、夕会なども)				
10	アジャイルコーチ				
11	インセプションデッキ				
12	ストーリーポイント				
13	かんばん				
14	タスクボード				
15	ストーリーマッピング				
16	プランニングポーカー				
17	チケット駆動				
18	プロダクトバックログ				

(b) あなたがこれまでに関与してきたプロジェクトで、導入していたエンジニアリングプラクティスと導入状況について、当てはまるものを選択してください。

		知らない	知っているが未導入	導入したことがある	よく導入している
1	テスト駆動開発				
2	ペアプログラミング				
3	リファクタリング				
4	継続的インテグレーション				
5	ユニットテスト自動化				
6	ビルド自動化				
7	受け入れテスト自動化 ※新規				

8	モブプログラミング ※新規				
9	コーディング標準 ※新規				

(IV-7) 導入していたアジャイルプロジェクト管理ツール：

あなたがこれまでに関与してきたプロジェクトで、導入していたアジャイルプロジェクト管理ツールについて、当てはまるものを選択してください。 ※新規

		知らない	知っているが未導入	導入したことがある	人に薦めた
1	Atlassian JIRA				
2	Microsoft Excel				
3	Microsoft Azure DevOps				
4	Google Docs				
5	Microsoft Project				
6	Redmine				
7	Backlog				
8	Pivotal Tracker				
9	Trello				
10	Asana				
11	GitHub				
12	Gitlab				
13	社内独自システム				
14	その他				

(IV-8) ビジネス価値の評価：

あなたがこれまでに関与してきたアジャイルプロジェクトで、ビジネス価値を評価したことがありますか。

- () 1. 評価したことがある
() 2. 評価したことがない

(IV-9) (IV-8)で「1. 評価したことがある」とお答えした方にお尋ねします。

どのような評価方法を採用しているかご記入ください。例：売上高、利用者数など
()

(IV-10) アジャイル開発手法を導入していた期間：

あなたがこれまでに関与してきた代表的なアジャイルプロジェクトで、アジャイル開発手法を導入していた期間について、もっとも当てはまるものを1つだけ選択してください。

- () 1. 2ヶ月未満
() 2. 2ヶ月以上-6ヶ月未満
() 3. 6ヶ月以上-12ヶ月未満
() 4. 12ヶ月以上-18ヶ月未満
() 5. 18ヶ月以上-24ヶ月未満
() 6. 24ヶ月以上

(IV-11) アジャイル開発をやめた理由：

だけ選択してください。

薦める可能性はまったくない

薦める可能性は極めて高い

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----

V. これまで導入したことはない、または、分からない方にお尋ねします。

(V-1) アジャイル開発の導入について：

あなたが関与するプロジェクトで、アジャイルを導入しようと考えていますか？

- 1. はい
- 2. いいえ
- 3. どちらとも言えない
- 4. その他（具体的に： _____）

(V-2) アジャイル開発に期待するもの：

あなたが関与するプロジェクトで、アジャイル開発に期待するものについて、当てはまるものを全て選択してください。

- 1. 変更対応（仕様、環境など）への柔軟性
- 2. 納期短縮
- 3. コスト削減
- 4. システム品質向上
- 5. 開發生産性向上
- 6. 無駄なものを作らない
- 7. ビジネス価値創造
- 8. 顧客満足度向上
- 9. 開発者のモチベーションアップ
- 10. チームの成熟度向上
- 11. 開発プロセス改善
- 12. 収益向上
- 13. プロジェクトのリスク削減 ※新規
- 14. プロジェクトの可視性向上 ※新規
- 15. その他（具体的に： _____）

(V-3) アジャイル開発導入にあたっての問題点：

あなたが関与するプロジェクトで、アジャイル開発導入にあたっての問題点について、当てはまるものを全て選択してください。

- 1. 人材
- 2. 発注、受注の契約形態
- 3. 組織の制約
- 4. その他（具体的に： _____）

(V-4) アジャイル開発を導入しない理由：

あなたが関与するプロジェクトで、アジャイル開発を導入しない理由について、当てはまるものを全て選択してください。

- 1. 導入するメリットが明確になっていない
- 2. 導入できる人材がいない
- 3. 現在の開発プロセスで問題を感じていない
- 4. 導入時のデメリットが明確になっていない
- 5. 導入しなくても解決できる
- 6. その他（具体的に： _____）

